

## ○ 立志式が行われました

2月21日(火)に、2年生を対象に立志式を実施しました。立志式とは、昔の元服にちなんで(数え年の)15歳を祝う行事のことです。生徒たちは、将来への決意や目標などを生徒や保護者の前で「決意表明」することで、一歩大人になる自覚を深めることができました。「決意表明」には、自己を見つめ、自分を俯瞰して見ることができている部分があり、大きな成長を感じました。

これからの生徒の行動が楽しみです。

※下記に、立志式で述べた「決意表明」を載せました。



### ○ 中間 彩心

私は、「明朗快活」という言葉を選びました。この言葉は明るく朗らかで、はきはきと元気な様子を感じます。私は将来、たくさんの人を笑顔にする人になりたいです。人を笑顔にするには、まず自分が笑顔でいることが大切だと思います。苦手なこと、嫌なことがあっても、気持ちを切り替え、前向きに考えるようにしたいです。また、コミュニケーション力も大切だと思います。そのために、授業でも積極的に発表したり、相手の話をしっかりと聞く、部活でも、声を出したり相手の良いところをほめていきたいです。日頃の挨拶もコミュニケーションの一つだと思うので大事にしていきたいです。毎日、笑顔を忘れず、明朗快活な人になれるように頑張っていきたいです。そして、将来たくさんの人を笑顔にできるよう、これから努力していきたいです。

### ○ 村社 奏

私は、「水到渠成」という言葉を選びました。この言葉は、勉強することによって、自然に心もはぐくまれるという意味です。私は、いろいろな人を笑顔にできるような人。そして、心に余裕をもったしっかりとした大人になりたいと思っています。そのために私は、物事の優先順位を考えて行動し、学業や社会でのマナーをしっかりと勉強することを頑張る心で育み豊かにしていきたいと思っています。そして、自分を成長させていきたいと思っています。応援よろしくをお願いします。

### ○ 本門 冬馬

私は、「苦しいときでも笑っていたい心に余裕がないと良い判断はできないから」という言葉を選びました。私は、この言葉にあった人になりたいと思っています。また私は、学校の改革など様々なことを行ってきた工藤勇一さんみたいに、色々な視野をもつ人になりたいです。そのために、相手の意見を素直に受け入れるために、心の広さを大切に、周りをよく見ることができるよう自分に余裕ももつようにし、たくさんの方の言葉を学び表現豊かにすることの三つを伸ばしていきたいです。

「苦しいときでも笑っていたい心に余裕がないと良い判断はできないから」という言葉に見合った人に成長していきたいです。

## 本年度のPTA活動ありがとうございました

2月16日(木)に本年度最後のPTA定期役員会等がありました。令和4年度の学校行事・PTA活動等の教育活動に関して、ご協力していただき、大変お世話になりました。

## ○ 3・4月の主な予定

3月10日(金) 送別行事・弁当の日  
3月16日(木) 卒業式  
3月17日(金) 県立高校合格発表  
3月24日(金) 修了式  
3月30日(木) 離任式(予定)

4月 7日(金) 始業式(午前中・給食なし)  
4月11日(火) 入学式(午前中・給食なし)  
4月20日(木) 振替休日(22日・土の分)  
4月22日(土) 参観日・PTA総会

※変更の場合もありますので、学級通信等でご確認ください。

## ○ 編集後記 大寒波「天災は忘れた頃に……」と立志式の思い出

先月は、10年に一度の大寒波があり、本校では水道管の破裂等がありました。学校としては、水道の元栓を締める・蛇口を開けておくなどの対応をしていましたが、自然の力には勝てませんでした。幸いにも、すぐ修繕等をしていただき、学校にはほとんど影響なく教育活動が行うことができたことには感謝です。また、今後何年後かに訪れるであろう大寒波に備えて、今回の件を引き継いでいかなければと思いました。

中学校に勤務していると毎年「立志式」で生徒が将来の夢など「決意表明」をします。以前勤務していた学校で、「将来グローブ職人になる」と言った生徒がいました。それから数年度、あるテレビ番組を見ていたら、何とその生徒が「グローブ職人」にいました。立志(志を立てる)とはよく言ったものだと感心しました。そんなふうに、生徒たちも将来の夢や目標を達成してほしいです。